

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 4月号

令和4年4月8日(金)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』
たしかな学力
ゆたかな心情
たくましい身体

令和4年度のスタートにあたって

校長 とみた ひでお
富田 英雄

桜の花びらが舞い、彩り豊かな花々が咲き競う中、令和4年度の教育活動がスタートしました。保護者の皆様、お子様の御入学・進級、誠におめでとうございます。令和4年度は、新入生115名を迎え、全校生徒356名で教育活動がスタートします。

本校は、創立74年目を迎え、歴史と伝統のある学校です。学校教育目標「人間性豊かな実践力のある生徒 ～たしかな学力 ゆたかな心情 たくましい身体～」のもと、未来社会をたくましく生き、新たな時代を創り出す力の育成を目指し、教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。

さて、令和4年度、目指す生徒像として3つを掲げました。1つは「夢や目標をもち、実現に向け、日々努力する生徒」です。夢や目標をもつことは、たくましく生きていくための源となります。また、その実現に向け、努力する姿勢をもつことは、これからの人生で様々な困難を乗り越える力にもなります。生徒には、まずは、「できそうなこと」、「これだけはやり遂げたいこと」を自分で決めて取り組み、達成できたら自分をほめ、次の目標に向け努力する、その繰り返しが大切であり、それが夢の実現の一步だと話したいと思っています。2つ目は、「様々な課題に対し、あきらめずに主体的に物事を解決する生徒」です。現在、デジタル化が急速に進み、社会環境、生活環境が大きく変化しています。今後、予測不能な社会が到来しても、自ら課題意識をもち、多角的なものの見方や考え方を身に付け、自ら物事を解決しようとする姿勢をもつことが大切です。生徒には、1人1台パソコン等を有効活用しながら、自分で学ぶ姿勢、興味をもったことや疑問をもったことをとことん考えたり調べたりする姿勢をもってほしいと伝えていきます。3つ目は、「思いやりの心をもち、コミュニケーション力、表現力のある生徒」です。これからの社会、様々な困難に遭遇するかもしれません。一人の力ではどうにもならないこともあると思います。そのようなときこそ、意見をしっかりと伝え合い、認め合いながら協力して乗り越えていくことが大切です。そのためにも、他者を認め、思いやりの心をもち、自分の考えをしっかりと伝え、相手の意見を理解し、コミュニケーションをとれるよう、指導してまいります。

新型コロナウイルス感染症の状況は依然として予断を許さない状況です。今年度も、学校の新しい生活様式に基づき、感染症対策を図ってまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、今年度も、引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力のほど、よろしく願いいたします。